

4 特別会計決算の概要

特別会計（企業会計の病院事業、下水道事業及び水道事業を除く。）14会計については、歳入決算額は2,983億4,100万円、歳出決算額は3,093億8,800万円となった。

会計ごとの決算の状況は、表6のとおりである。

表6

(単位：百万円)

会 計 名	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	歳入歳出 差引額 (A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (D)	実質収支 (C)-(D)
国民健康保険	87,348	99,146	△ 11,798	0	△ 11,798
介護保険	44,432	44,317	115	0	115
後期高齢者医療	7,042	6,924	118	0	118
母子寡婦福祉資金貸付	325	245	80	0	80
霊園	639	639	0	0	0
農業集落排水	464	464	0	0	0
競輪	13,344	13,248	96	0	96
中央卸売市場	1,007	1,007	0	0	0
都市計画土地区画整理	702	645	57	57	0
市街地再開発	1,247	962	285	285	0
動物公園	1,043	1,043	0	0	0
公共用地取得	1,439	1,439	0	0	0
学校給食センター	2,343	2,343	0	0	0
公債管理	136,967	136,967	0	0	0
計	298,341	309,388	△ 11,047	342	△ 11,389

※各会計毎に表示単位未満を四捨五入しているため、計と一致しない場合がある。

※老人保健医療事業特別会計は平成22年度末をもって廃止。

① 国民健康保険事業特別会計

決算額は、歳入が 873 億 4,800 万円、歳出が 991 億 4,600 万円となり、実質収支において 117 億 9,800 万円の不足が生じたため、平成 24 年度からの繰上充用により対応した。

歳入については、国民健康保険料が 207 億 9,700 万円、国からの療養給付費等負担金や財政調整交付金等が 197 億 6,500 万円、社会保険診療報酬支払基金からの前期高齢者交付金が 235 億 1,500 万円、一般会計からの繰入金が 73 億 2,100 万円の決算額となった。

歳出については、療養給付費が延べ 3,841,819 件で、523 億 4,400 万円、高額療養費が延べ 85,066 件で、56 億 6,900 万円、後期高齢者支援金が 119 億 2,400 万円、介護納付金が 46 億 8,300 万円の決算額となった。

② 介護保険事業特別会計

決算額は、歳入が 444 億 3,200 万円、歳出が 443 億 1,700 万円となった。

歳入については、介護保険料が 94 億 2,100 万円、国・県からの介護給付費負担金が 136 億 8,300 万円、社会保険診療報酬支払基金からの介護給付費交付金が 126 億 8,800 万円、一般会計からの繰入金が 66 億 6,700 万円の決算額となった。

歳出については、保険給付費が延べ 839,257 件で 420 億 6,800 万円、介護給付準備基金への積立金が 1,000 万円の決算額となった。

③ 後期高齢者医療事業特別会計

決算額は、歳入が 70 億 4,200 万円、歳出が 69 億 2,400 万円となった。

歳入については、後期高齢者医療保険料が 61 億 8,500 万円、一般会計からの繰入金が 7 億 9,900 万円の決算額となった。

歳出については、千葉県後期高齢者医療広域連合に対する納付金が 68 億 8,100 万円の決算額となった。

④ 公債管理特別会計

決算額は、歳入歳出それぞれ 1,369 億 6,700 万円となった。

歳入については、各会計からの繰入金が 904 億 3,300 万円、借換債が 463 億 9,200 万円の決算額となった。

歳出については、元金が 906 億 9,200 万円、利子が 197 億 9,600 万円の決算額となった。